

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-211961  
 (43)Date of publication of application : 11.08.1998

(51)Int.CI.

B65D 77/04  
 B29D 22/00  
 B65D 47/34  
 B65D 83/76

(21)Application number : 09-257690

(22)Date of filing : 05.09.1997

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(72)Inventor : TAKEATSU OSAMU  
 SAITO TAKASHI  
 TOKUNAGA TOMOKO

(30)Priority

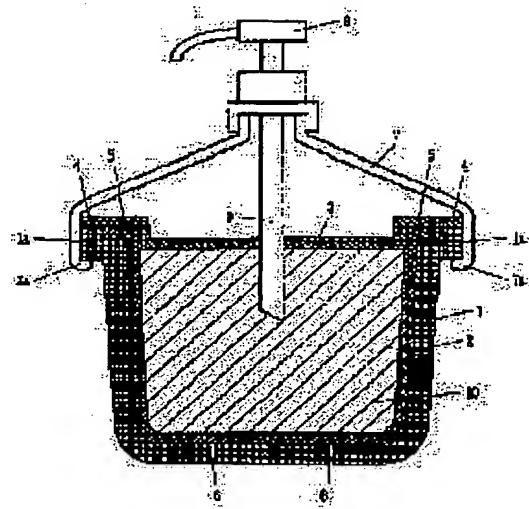
Priority number : 08334573 Priority date : 29.11.1996 Priority country : JP

## (54) VISCOUS MATTER PACKAGING CONTAINER, AND DISTRIBUTING DEVICE

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To make it possible to take out viscous contents to their last, and to make a container usable for refilling.

**SOLUTION:** A flanged flexible cuplike inner container 2 is inserted into and detachably stuck to the inside of a flanged rigid cuplike outer container 1 having small holes at its bottom, and a double container is formed by connecting the inner container 2 and the outer container 1 at their flanges. With a cover member 3 having thrusting sealability stuck by heat sealing to cover the opening of the double container, a viscous matter packaging container is constructed, and a cover body 7, with a pump body 8 having a suction tube 9 provided at its center and an engaging part 7a provided at its periphery, is attached to the upper part of the viscous matter packaging container with the engaging part 7a of the cover body 7 engaged with the flange 1a of the outer container 1, and thereby a viscous matter distributing device is constructed with the tip of the suction tube 9 thrust into the inner container 2, piercing through the cover member 3.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.05.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Best Available Copy

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-211961

(43)公開日 平成10年(1998)8月11日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
B 6 5 D 77/04  
B 2 9 D 22/00  
B 6 5 D 47/34  
83/76

識別記号

F I  
B 6 5 D 77/04  
B 2 9 D 22/00  
B 6 5 D 47/34  
83/00

B  
E  
K

審査請求 未請求 請求項の数8 FD (全7頁)

(21)出願番号 特願平9-257690

(22)出願日 平成9年(1997)9月5日

(31)優先権主張番号 特願平8-334573

(32)優先日 平8(1996)11月29日

(33)優先権主張国 日本 (JP)

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社  
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 竹厚 修

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
大日本印刷株式会社内

(72)発明者 斎藤 尚

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
大日本印刷株式会社内

(72)発明者 徳永 智子

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
大日本印刷株式会社内

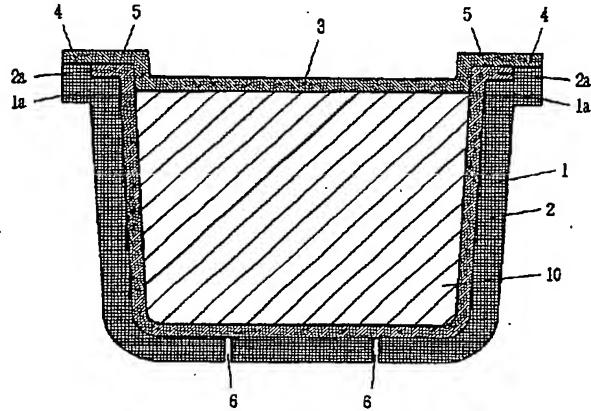
(74)代理人 弁理士 小西 淳美

(54)【発明の名称】 粘稠物包装容器及び分配装置

(57)【要約】

【課題】 粘稠な内容物を残さず取り出せると共に、詰め替え容器として使用できる粘稠物包装容器及び分配装置を提供することである。

【解決手段】 フランジを有すると共に底部に小孔を有する剛性のカップ状の外容器の内部に、フランジを有する可撓性のカップ状の内容器を剥離可能に密着して挿入して、内容器および外容器をフランジ部にて連結した2重容器であって、2重容器の開口部を覆うように突き刺し密封性のある蓋材を熱接着して取り付けた構成の粘稠物包装容器、及び該粘稠物包装容器の上部に、中央部に吸出筒を備えたポンプ体が取り付けられると共に周縁に係合部が形成された蓋体を、蓋体の係合部を外容器のフランジに係合させて取り付け、吸出筒の先端を蓋材を貫通させて内容器の内部に挿入した構成の粘稠物分配装置である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 フランジを有すると共に底部に通気孔を有する剛性の外容器の内部に、フランジを有する可撓性の内容器を剥離可能に密着挿入し、前記外容器及び前記内容器のフランジにて連結された2重容器からなり、前記2重容器の開口部を覆うように突き刺し密封性を有する蓋材が、少なくとも前記内容器のフランジに熱接着により取り付けられた構成からなることを特徴とする粘稠物包装容器。

【請求項2】 前記外容器のフランジの内周域に段部を設け、前記段部内に前記内容器のフランジを載置して、前記蓋材を前記内容器のフランジ及び前記外容器のフランジに熱接着して取り付けられた構成からなることを特徴とする請求項1記載の粘稠物包装容器。

【請求項3】 前記蓋材が、未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体であることを特徴とする請求項1、2記載の粘稠物包装容器。

【請求項4】 前記蓋材が、ガスバリアー層と未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体であることを特徴とする請求項1、2記載の粘稠物包装容器。

【請求項5】 前記ガスバリアー層が、ポリ塩化ビニリデン系樹脂、エチレン-ビニルアルコール共重合体、金属又は金属酸化物蒸着プラスチックフィルム、アルミニウム箔であることを特徴とする請求項4記載の粘稠物包装容器。

【請求項6】 前記内容器が、ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層との積層体からなり、前記ポリオレフィン樹脂層が内面となるように成形された構成であることを特徴とする請求項1～5記載の粘稠物包装容器。

【請求項7】 前記内容器が、ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層と熱可塑性樹脂層との積層体からなり、前記ポリオレフィン樹脂層が内面となるように成形された構成であることを特徴とする請求項1～5記載の粘稠物包装容器。

【請求項8】 請求項1～7に記載の粘稠物包装容器の上部に、下方に向けて伸びる吸出筒を備えたポンプ体が中央部に取り付けられると共に周縁に係合部が形成された蓋体を、前記蓋体の係合部を前記外容器のフランジに係合されて取り付けると共に、前記吸出筒の先端を前記蓋材を貫通させて前記内容器内に挿入した構成からなることを特徴とする粘稠物分配装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、粘稠物包装容器及び粘稠物分配装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、粘稠物分配容器としては、チューブ状容器に内容物が収納し、チューブ状容器の側壁を押すことにより内容物を取り出すもの、ないしは剛性のあ

るプラスチックボトル等に注出用ポンプを取り付けた容器に内容物を収納し、注出用ポンプにより内容物を少量づつ取り出すもの等が知られているが、前者のものでは包装する容量を大きく出来ないと共に残さずに内容物を取り出すことが困難であるという欠点があり、後者のものにおいても内容物を最後まで残さず取り出すことができないという欠点があり、両者共に使い捨ての容器として使用されるものであった。また、特開平8-183561号に記載されているような、プレー成形により合成樹脂製の外容器と外容器に剥離自在に積層された可撓性合成樹脂製の内容器とからなるボトル状の容器に注出用ポンプを取り付けた構成のものが知られている。この容器の場合、内容物収納部に外気を進入させることなく、また内容物を吸出して使い切ることのできる容器があるが、構造が複雑である上に使い捨て容器であり、詰め替え容器として使用できないという欠点がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、粘稠な内容物を残さず取り出せると共に、詰め替え容器として使用できる粘稠物包装容器及び分配装置を提供することである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】フランジを有すると共に底部に通気孔を有する剛性の外容器の内部に、フランジを有する可撓性の内容器を剥離可能に密着挿入してフランジにて連結された2重容器からなり、前記2重容器の開口部を覆う蓋材が、少なくとも前記内容器のフランジに熱接着により取り付けられた構成の粘稠物包装容器であるので、この粘稠物包装容器の蓋材を貫通させて吸出筒を挿入し内容物を取り出すことにより内容物の容量が減少すると、内容器が密封されていると共に蓋材の吸出筒の差し込み部の気密性が保たれているために、内容器の内部に外気が進入することがなく内容器内が負圧となる。一方、外容器の底部には通気孔が設けられているので内容器の外部に外圧がかかり、内容器の内圧よりも外圧の方が強くなるために、その圧力差により内容器と外容器が分離して内容器の底部が上に押し上げられた状態となり内容器の容積が減少する。内容物を更に取り出してゆくにつれて、内容器と外容器の分離が進行し、内容器が圧縮されて吸出筒の周辺に密着する状態で内容物が最後まで取り出すことができるものである。上記のように、内容器の内部に外気が進入することがないので内容物が酸化等により劣化することがなく内容物の保護性が保持できる。

【0005】上記の粘稠物包装容器において、前記外容器のフランジの内周域に段部を設け、前記段部内に前記内容器のフランジを載置して、前記蓋材を前記内容器のフランジ及び前記外容器のフランジに熱接着して取り付けた構成とすることにより、外容器のフランジの上面と内容器のフランジの上面を面一にすることができるの

で、蓋材を外容器のフランジ及び内容器のフランジに容易に熱接着して密封することができると共に、外容器と内容器を一体化する容易となる。

【0006】上記の粘稠物包装容器において、前記蓋材を未延伸ナイロン層と可撓性に優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体にて構成することにより、ポンプ体の吸出筒を蓋材を貫通させて内容器内に差し込んだ場合においても、吸出筒と蓋材との密着性がよく気密性が保たれるので、差し込み部から内容器に外気が進入することができなく内容物を最後まで取り出すことができる。

【0007】上記の粘稠物包装容器において、前記蓋材を、ポリ塩化ビニリデン系樹脂、エチレン-ビニルアルコール共重合体、金属又は金属酸化物蒸着プラスチックフィルム、アルミニウム箔からなるガスバリアー層と未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体とすることにより、蓋材のガスバリア性が優れたものとなると共に、差し込み部における吸出筒と蓋材との気密性を保持することができる。

【0008】上記の粘稠物包装容器において、前記内容器を、ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層との積層体、ないしはポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層と熱可塑性樹脂層との積層体からなり、前記ポリオレフィン樹脂層が内面となるように成形された構成とすることにより、ガスバリアー性の優れた内容器とすることができると共に蓋材にて熱接着して内容器を密封することができるので内容物の保護性がきわめて良好となる。

【0009】上記の粘稠物包装容器の上部に、下方に向けて延びる吸出筒を備えたポンプ体が中央部に取り付けられると共に周縁に係合部が形成された蓋体を、前記蓋体の係合部を前記外容器のフランジに係合させて取り付けると共に、前記吸出筒の先端が蓋材を貫通して前記内容器内に挿入された構成の粘稠物分配装置とすることにより、内容物を最後まで使い切ることができると共に、内部に外気が入ることのないで内容物が酸化されるのを防止できるので、内容物の保護性の優れた分配装置とすることができます。

#### 【0010】

【発明の実施の形態】以下、図面を引用して本発明の実施の形態を説明する。図1は本発明の粘稠物包装容器の第1実施形態を示す断面図、図2は第1実施形態の粘稠物包装容器を利用した粘稠物分配装置を示す断面図、図3は内容物を一部取り出した状態の粘稠物分配装置の断面図、図4は本発明の粘稠物包装容器の第2実施形態を示す断面図、図5は第2実施形態の粘稠物包装容器を利用した粘稠物分配装置を示す断面図であって、1は外容器、1aは外容器フランジ、2は内容器、2aは内容器フランジ、3は蓋材、4は外容器周縁熱接着部、5は内容器周縁熱接着部、6は通気孔、7は蓋体、7aは係合部、8はポンプ体、9は吸出筒、10は内容物、11は空間、12は

接着部をそれぞれ表す。

【0011】本発明の粘稠物包装容器の第1実施形態は、図1に示すとおり、フランジ1aを有すると共に底部に通気孔6を有する剛性のあるカップ状の外容器1の内部に、フランジ2aを有する可撓性のカップ状の内容器2が分離可能に密着した状態で挿入された2重容器に、2重容器の開口を覆うように蓋材3が2重容器のフランジに熱接着により取り付けられた構成である。内容器2のフランジ2aの巾は外容器1のフランジ1aの巾よりも狭くされていると共に、外容器1のフランジ1aの内周に沿って内容器2のフランジ2aの巾でフランジ2aの厚さだけ低くした段部が形成されており、その段部に内容器2のフランジ2aが嵌め込まれて、外容器1のフランジ1aの上面と内容器2のフランジ2aの上面が面一になるようにされて、外容器1のフランジ1aと内容器2のフランジ2aの上面と蓋材3の内面とがそれぞれ外容器周縁熱接着部4と内容器周縁熱接着部5にて熱接着されて、内容器2が密封されると共に内容器2と外容器1とが連結された構成となっている。この構成とすることにより内容器2が外容器1から分離して抜け落ちることがない。なお、外容器1および内容器2の形状としてはカップ状が好ましいが、フランジを有していれば円筒状、角筒状等の筒状でもよい。

【0012】本発明の第1実施形態の粘稠物包装容器を使用した粘稠物分配装置は、図2に示すように、図1に示す粘稠物包装容器の上部に、中央部に下方に延びる吸出筒9を備えたポンプ体8が取り付けられると共に周縁に係合部7aが形成された蓋体7を、蓋体7の係合部7aを外容器1のフランジ1aの下端部に係合させることにより取り付けると共に、ポンプ体8の下方に延びる吸出筒9を、粘稠物包装容器の蓋材3に突き刺して吸出筒9の先端を粘稠物包装容器の内部に挿入した構成である。この状態でポンプ体を作動させることにより内容物を取り出すことができるものである。

【0013】ポンプ体8を作動させて内容物10を取り出してゆくと、内容物10の量が減るにつれて、内容器2の容量が減少して、外容器1の内面と内容器2の外面間で剥離して内容器2が分離すると同時に、内容器2の容量の減少した分だけ外容器1の底部に設けられた通気孔6を通して外気が流入して、外容器1の底部に空間11ができる。このように内容物10を取り出してゆくと、内容器2の容量が減少するにつれて、内容器2が押しつぶされて外容器1から分離してゆき、外容器1の底部に空間11ができる外気が流入してくる。内容物が全て吸い出されると内容器2が完全に押しつぶされて、蓋材3の下面及び吸出筒9の周囲に密着した状態となり、内容物を残らず最後まで吸い出して使用することができるものである。使用中には、内容器2内に外気が一切入ることがないので内容物が酸化等により変質することができなく品質が保持される。

【0014】上記のようにして、内容物10を取り出し終わると、外容器1のフランジ1aと蓋体の係合部7aとの係合を外し、粘稠物包装容器から蓋体7を取り外して、使用済みの粘稠物包装容器を廃棄し新しい粘稠物包装容器と取り替えることにより、ポンプ体8を備えた蓋体は再利用できるものであり、本発明の粘稠物分配装置は粘稠物包装容器を取り替えることにより、詰め替え容器として使用できる。

【0015】本発明の粘稠物包装容器の第2実施形態は、図4に示すとおり、フランジ1aを有すると共に底部に通気孔6を有する剛性のあるカップ状の外容器1の内部に、フランジ2aを有する可撓性のカップ状の内容器2が分離可能に密着した状態で挿入された2重容器に、2重容器の開口を覆うように蓋材3が内容器2のフランジ2aに内容器周縁熱接着部5にて取り付けられた構成である。第2実施形態の場合は、外容器1と内容器2は、外容器1のフランジ1aの上面と内容器2のフランジ2aの下面とを熱接着して連結するか、ないしは接着剤を使用して接着部12にて連結される。熱接着して連結する場合は、内容器2の外面の層を熱接着性樹脂にて構成しておくことが必要である。

【0016】本発明の第2実施形態の粘稠物包装容器を使用した粘稠物分配装置は、図5に示すように、図4に示す粘稠物包装容器の上部に、中央部に下方に延びる吸出筒9を備えたポンプ体8が取り付けられると共に周縁に係合部7aが形成された蓋体7を、蓋体7の係合部7aを外容器1のフランジ1aの下端部に係合させることにより取り付けると共に、ポンプ体8の下方に延びる吸出筒9を、粘稠物包装容器の蓋材3に突き刺して吸出筒9の先端を粘稠物包装容器の内部に挿入した構成である。ポンプ体を作動させて内容物を取り出して使用する方法は第1実施形態の粘稠物包装容器を使用した粘稠物分配装置と同様である。

【0017】本発明の粘稠物包装容器に使用される外容器1は高密度ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル等の樹脂からなり、インジェクション成形により製造される剛性のある容器である。蓋材3は、未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体、ないしはガスバリアー層と未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体により構成されている。ガスバリアー層としては、ポリ塩化ビニリデン系樹脂(PVDC)、エチレン-ビニルアルコール共重合体(EVOH)、金属又は金属酸化物蒸着(VM)プラスチックフィルム、アルミニウム箔(AL)等が使用される。

【0018】蓋材3を構成する可撓性の優れたポリオレフィン樹脂としては、低密度ポリエチレン(LDPE)、エチレン-酢酸ビニル共重合体(EVA)、エチレン-アクリル酸共重合体(EAA)、エチレン-アクリル酸エチル共重合体(EEA)、エチレン-メタクリ

50 ル酸共重合体(EMA)、アイオノマー樹脂(Io)等が使用される。蓋材3は、可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層にて、内容器2のフランジ2aの上面ないしは内容器2のフランジ2aおよび外容器1のフランジ1aの上面に熱接着されて取り付けられる。

【0019】未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる蓋材の積層構成の例としては、未延伸ナイロン(CN)/LDPE、CN/EVA、CN/EAA等であり、CN、LDPE、EVA、EAA等のフィルムをドライラミネーション等により積層してもよいし、それらの樹脂を共押出しすることにより積層してもよい。フィルムをドライラミネーションして積層する方法の場合は印刷は未延伸ナイロンフィルムの裏面に、共押出しにより製造する場合はナイロン層の表面にそれぞれ印刷する。

【0020】ガスバリアー層と未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる蓋材の積層構成の例としては、ガスバリアー層としてポリ塩化ビニリデン系樹脂(PVDC)を使用する場合は、PVDC/CN/PE、PVDC/CN/EVA、CN/PVDC/PE、CN/PVDC/EVA等であり、ポリ塩化ビニリデン系樹脂(PVDC)をコーティングした未延伸ナイロン(CN)フィルムを使用してドライラミネーションにより積層するか、それらの樹脂を共押出しすることにより積層体を作製することができる。ガスバリアー層としてエチレン-ビニルアルコール共重合体(EVOH)を使用する場合は、EVOH/CN/PE、EVOH/CN/EVA、CN/EVOH/PE、CN/EVOH/EVA等であり、それらの樹脂からなるフィルムのドライラミネーションないしは共押出しにより積層することができる。ガスバリアー層として金属又は金属酸化物蒸着(VM)プラスチックフィルムを使用する場合は、2軸延伸ナイロン(ON)/VM/CN/PE、ON/VM/CN/EVA等であり、ガスバリアー層としてアルミニウム箔(AL)を使用する構成は、AL/CN/PE、AL/CN/EVA等である。

【0021】内容器2は、ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層とからなる積層体、ないしはポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層と熱可塑性樹脂層とからなる積層体を使用して、ポリオレフィン樹脂層が内面となるように成形された可撓性の優れた容器である。ガスバリアー樹脂層としては、エチレン-ビニルアルコール共重合体(EVOH)、塩化ビニリデン系樹脂(PVDC)、ナイロン樹脂(NY)等が使用される。ポリオレフィン樹脂層としては、低密度ポリエチレン(LDPE)、線状低密度ポリエチレン(LLDPE)、エチレン-酢酸ビニル共重合体(EVA)、ポリプロピレン(PP)、エチレン-プロピレン共重合体(EP)等が使用できる。熱可塑性樹脂層としては、低密度ポリエチレン(LDPE)、線状低密度ポリエチレン(LLDPE)

E)、ポリプロピレン(PP)、エチレン-プロピレン共重合体(EP)、非晶質ポリエスチル(PET)、ナイロン(NY)、ポリスチレン(PS)等が使用できる。

【0022】ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層とからなる内容器の積層構成の具体例としては、(内面)PE/NY、(内面)PE/EVOH、(内面)EP/EVOH、(内面)变成PP/EVOH等であり、ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層と熱可塑性樹脂層とからなる内容器の積層構成の具体例としては、(内面)PE/EVOH/NY(外面)、(内面)EP/EVOH/NY(外面)、(内面)PE/EVOH/PE(外面)、(内面)EP/EVOH/EP(外面)、(内面)变成PP/EVOH/变成PP(外面)、(内面)PE/EVOH/PET(外面)、(内面)EP/EVOH/PS(外面)等である。上記積層フィルムは多層押出により製造されるものであり、各層間の接着強度を強くするために各層間に接着層を入れた多層押出フィルムとしてもよい。内容器2を構成する積層体は、可撓性があり、耐ピンホール性に優れたものが好ましい。次に述べる2重容器の製造方法によっては、内容器2を構成する積層体の外面となる熱可塑性樹脂は、外容器1と熱接着しないもの、ないしは外容器1と密着しにくいものを使用する必要がある。内容器2を構成する積層体の外面となる熱可塑性樹脂層に、外容器1との接着を阻害するスリップ剤等の添加剤を加えた樹脂を使用するようにしてもよい。

【0023】外容器1の内部に内容器2を剥離可能に装着する方法としては、外容器1と内容器2を別々に成形して作製して、外容器1内に内容器2を挿入する方法、予め作製した内容器2を、インジェクション成形金型に嵌め込んだ後に外容器1をインジェクション成形して容器を作製するいわゆるインサート成形方法、外容器1をインジェクション成形により予め作製しておき、外容器1を成形型として内容器を構成する積層フィルムを真空成形ないしは圧空成形して、外容器1の内面に密着して内容器2を形成する方法等により製造することができる。インサート成形方法にて製造する場合には、内容器を構成する積層フィルムの外面のガスバリアー樹脂層ないしは熱可塑性樹脂層と外容器1を構成する高密度ポリエチレンないしはポリプロピレンとが熱により接着しないものを選定しておくことが必要になる。

【0024】

【発明の効果】フランジを有すると共に底部に通気孔を有する剛性の外容器の内部に、フランジを有する可撓性の内容器を剥離可能に密着して挿入された2重容器からなり、2重容器の開口部を覆う蓋材が、内容器のフランジないしは内容器及び外容器のフランジに熱接着して取り付けられた構成の粘稠物包装容器であるので、この粘稠物包装容器の蓋材を貫通させて吸出筒を挿入し内容物

を取り出すことにより内容物の容量が減少すると、内容器が密封されていると共に蓋材の吸出筒の差し込み部の気密性が保たれているために、内容器の内部に外気が進入するがなく内容器内が負圧となる。一方、外容器の底部には通気孔が設けられているので内容器の外部に外圧がかかり、内容器の内圧よりも外圧の方が強くなるために、その圧力差により内容器と外容器が分離して内容器の底部が上に押し上げられた状態となり内容器の容積が減少する。内容物を更に取り出してゆくにつれて、  
10 内容器と外容器の分離が進行し、内容器が圧縮されて吸出筒の周辺に密着する状態で内容物が最後まで取り出すことができるものである。上記のように、内容器の内部に外気が進入するがなく内容物が酸化等により劣化するがなく内容物の保護性が保持できる。上記の粘稠物包装容器において、外容器のフランジの内周域に段部を設け、段部内に内容器のフランジを載置して、蓋材を内容器のフランジ及び外容器のフランジに熱接着して取り付けた構成とすることにより、外容器のフランジの上面と内容器のフランジの上面を面一にすることができる、蓋材を外容器のフランジ及び内容器のフランジに容易に熱接着して密封することができると共に、外容器と内容器を一体化することが容易となる。上記の粘稠物包装容器において、蓋材を、未延伸ナイロン層と可撓性に優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体にて構成することにより、ポンプ体の吸出筒を蓋材を貫通させて内容器内に差し込んだ場合においても、吸出筒と蓋材との密着性がよく気密性が保たれるので、差し込み部から内容器に外気が進入するがなく内容物を最後まで取り出すことができる。上記の粘稠物包装容器において、蓋材を、ポリ塩化ビニリデン系樹脂、エチレン-ビニルアルコール共重合体、金属ないしは金属酸化物蒸着2軸延伸プラスチックフィルム、アルミニウム箔からなるガスバリアー層と未延伸ナイロン層と可撓性の優れたポリオレフィン樹脂層とからなる積層体とすることにより、蓋材のガスバリア性が優れたものになると共に、差し込み部における吸出筒と蓋材との気密性を保持することができる。上記の粘稠物包装容器において、内容器を、ポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層との積層体、ないしはポリオレフィン樹脂層とガスバリアー樹脂層と熱可塑性樹脂層との積層体からなり、ポリオレフィン樹脂層が内面となるように成形された構成とすることにより、ガスバリアー性の優れた内容器とすることでできるので内容物の保護性がきわめて良好となる。上記の粘稠物包装容器の上部に、下方に向けて延びる吸出筒を備えたポンプ体が中央部に取り付けられると共に周縁に係合部が形成された蓋体を、蓋体の係合部を外容器のフランジに係合固定して取り付けると共に、吸出筒の先端が蓋材を貫通して内容器内に挿入された構成の粘稠物分配装置とすることにより、内容物を最後まで使い切ることができると共に、内部に外気が入ることがない

ので内容物が酸化されるのを防止できるので、内容物の保護性の優れた分配装置とすることができます。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の粘稠物包装容器の第1実施形態を示す断面図。

【図2】第1実施形態の粘稠物包装容器を利用した粘稠物分配装置を示す断面図。

【図3】内容物を一部取り出した状態の粘稠物分配装置の断面図。

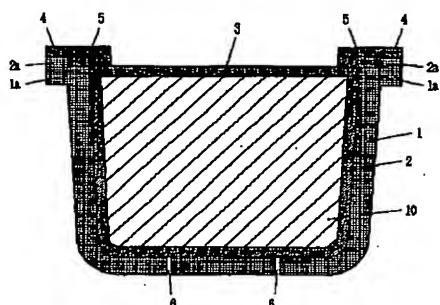
【図4】本発明の粘稠物包装容器の第2実施形態を示す断面図。

【図5】第2実施形態の粘稠物包装容器を利用した粘稠物分配装置を示す断面図。

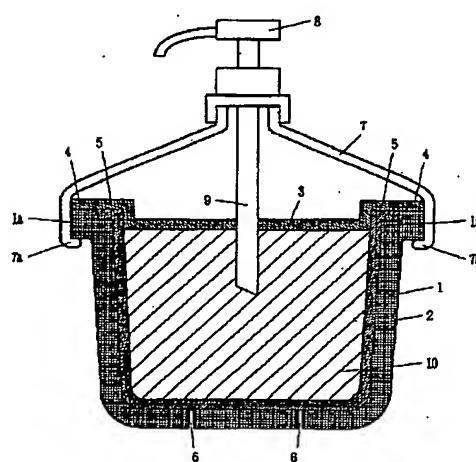
【符号の説明】

1	外容器	7	蓋体
1a	外容器フランジ	7a	係合部
2	内容器	8	ポンプ体
2a	内容器フランジ	9	吸出筒
3	蓋材	10	内容物
4	外容器周縁熱接着部	11	空間
5	内容器周縁熱接着部	12	接着部
6	通気孔		

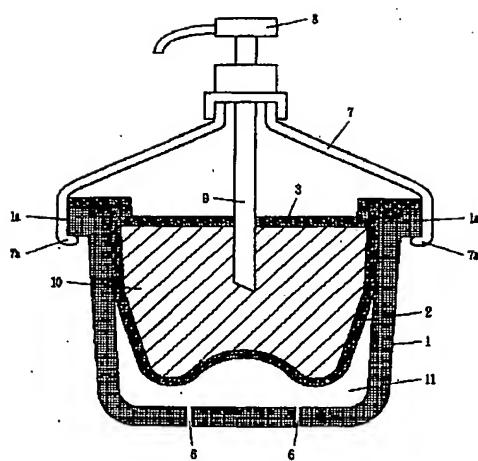
【図1】



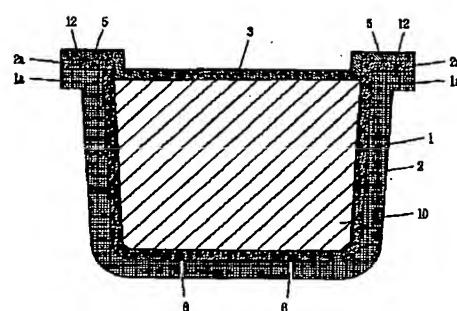
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

